

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

25年 6月 24日

滋賀県知事
三日月 大造 殿

提出者

住所 滋賀県 野洲市 市三宅 686-2

氏名 MMIセミコンダクター株式会社
代表取締役社長 用害 毅

電話番号 077-588-9200

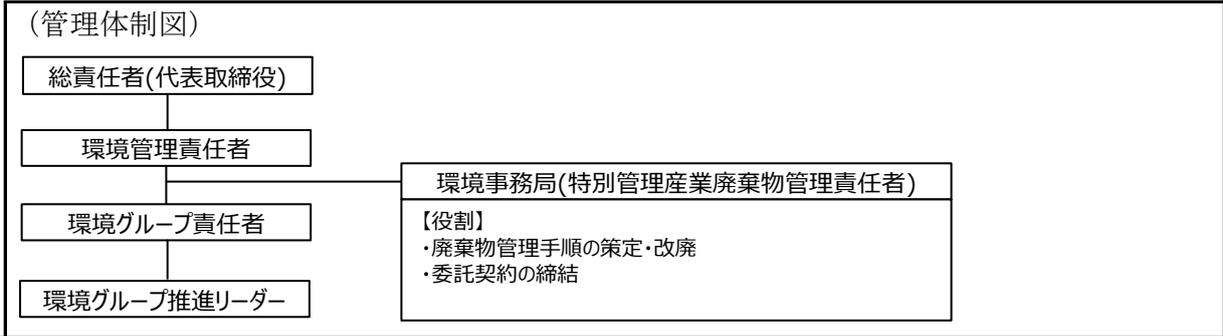
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	MMIセミコンダクター株式会社
事業場の所在地	滋賀県 野洲市 市三宅 686-2
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	出荷額 約44.5億円
③従業員数	292名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス屑→中間処理後安定型埋立場に埋め立て処分 ・木くず →再生処理業者に委託して破碎し、チップとして再資源化 ・汚泥 →再生処理業者に委託して、セメント原料として再資源化 ・廃プラスチック類 →再生処理業者に委託してRPFとして再資源化 ・金属くず →再生処理業者に委託して金属として再資源化 ・廃酸 →中間処理業者に委託して中和・無害化し、残渣物は管理型埋立場に埋め立て処分 ・廃油 →廃棄物処理業者に委託して、廃プラスチックを焼却するための助燃剤として利用。燃えがらは、管理型埋立場に埋め立て処分

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 製造装置や生産治具の廃棄の際は、装置内部にランプや電池その他取り外し可能な物については分別を行っています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物引き渡し時に適切に分別された状態で搬出できるよう情報を得ながら対応を進めます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり			
※事務処理欄			

産業廃棄物の種類 現状と計画	汚泥		廃酸		廃プラスチック		金属くず	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	2711t	3795t	2.44t	3.65t	13.1t	20.1t	2t	6t
これまでに実施した取組	生産設備の移設・廃棄・新設に伴いリサイクル可能な物に関しては下取りや有価物での引き取りを行い産廃の排出							
今後実施する予定の取組	今後も上記の取り組みを継続しつつ産廃排出量の削減に取り組めます。							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	該当なし						該当なし	
今後実施する予定の取組	該当なし						該当なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	2271t	3180t	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	・汚泥を脱水し減容しています。減容率が低下して来ればフィルター(濾布)を交換しています。							
今後実施する予定の取組	・安定した脱水性能を維持管理し、排出量削減に取り組めます。							
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	該当なし						該当なし	
今後実施する予定の取組	該当なし						該当なし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	542t	820t	2.44t	3.65t	13.1t	20.1t	2t	6t
優良認定処理業者への処理委託量	542t	820t	2.44t	3.65t	0.81t	1t	0.0t	0.0t
再生利用者への処理委託量	542t	820t	0.0t	0.0t	13.1t	20.1t	2t	6t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
これまでに実施した取組	排出事業者として電子マニフェスト登録後、中間処理・最終処分それぞれの終了報告が期限内に行われているか							
今後実施する予定の取組	今後も上記の取り組みを継続しながら産廃処理の正しい管理に取り組めます。							

産業廃棄物の種類 現状と計画	ガラス、コンクリート、陶磁器くず		木くず		廃油	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	0.15t	0.4t	0.87t	1.8t	12.5t	25t
これまでに実施した取組	排出量の削減に取り組みました。					
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-		
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-		
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	-	-	-	-		
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-		
これまでに実施した取組						
今後実施する予定の取組						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	0.15t	0.4t	0.87t	1.8t	12.5t	25t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	12.5t	25t
再生利用業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.87t	1.8t	12.5t	25t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	12.5t	25t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
これまでに実施した取組	を確認しています。					
今後実施する予定の取組						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。